

「貝」ってどんな生きもの？

○いろいろな貝

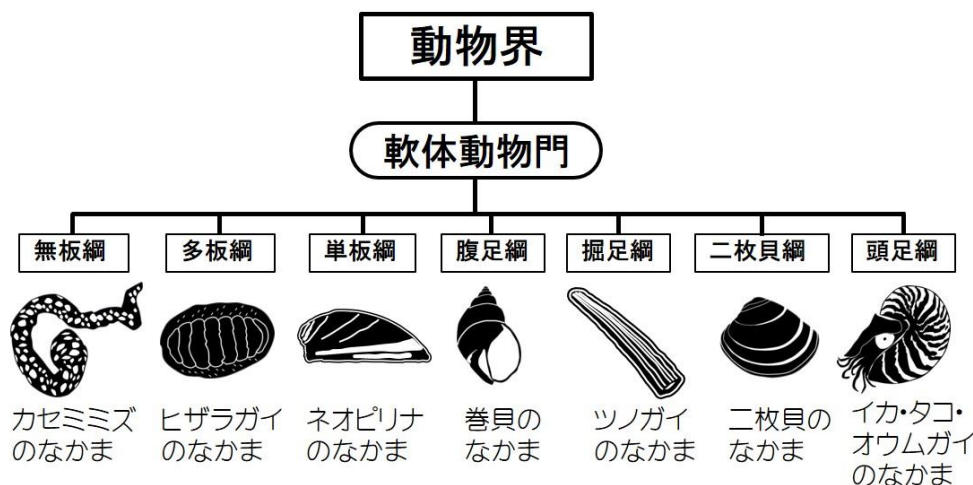
「貝」として知られている軟体動物は、海・川・池・湖・陸上にもすんでいて、生きものとしても私たちにとても身近な存在です。その種数は、世界中では10万種以上といわれており、生物界では昆虫類に次いで大きな分類群です。

ふつう、貝は殻をもちますが、殻をもたないイカやタコ類、ナメクジも軟体動物で、広い意味ではこれらも貝類の仲間になります。

宮崎の海で見られる貝は、巻き貝と二枚貝、ツノガイの仲間、イカ・タコの仲間を合わせると約1650種が確認されています。海の貝は大きさ・色・形など変化に富んだものが多く、とても魅力的です。

生きている貝を採集することはなかなか大変ですが、岩場や砂浜に打ち上げられている貝殻を採集することは簡単です。

◆貝類の分類◆

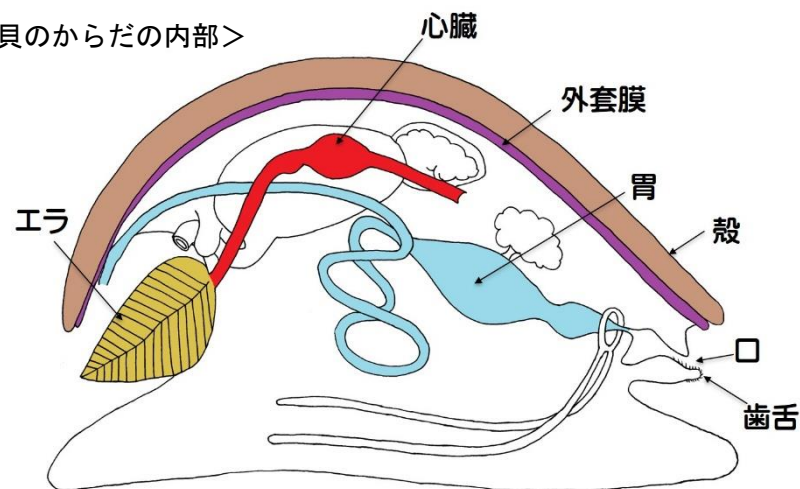


○海の貝類の食べ物とからだのつくり

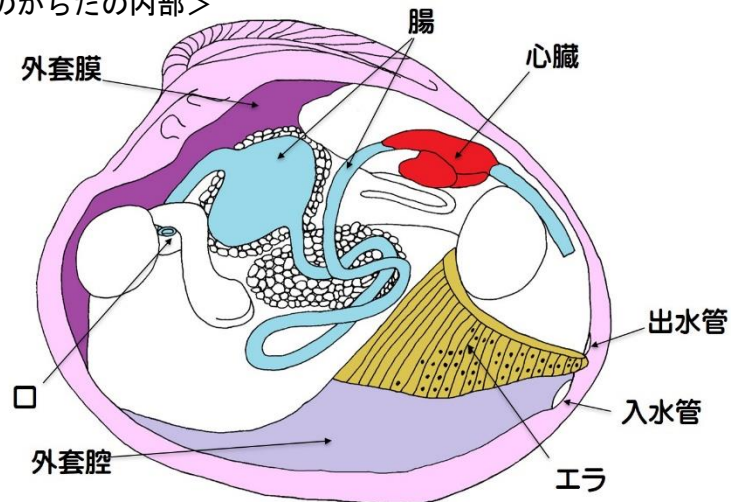
二枚貝は、水管から海水を体内に取り込み、海水の中にあるプランクトンや有機物をえらでこし取って食べています。巻貝の仲間は、口の中にある歯舌と呼ばれる歯で岩に付着した藻類を削り取って食べる草食性のものがありますが、二枚貝の殻に穴をあけて中身を溶かして食べたり、矢じり状の歯舌で魚などを捕らえて食べる肉食性のものもあります。

◆からだのつくり◆

<巻貝のからだの内部>

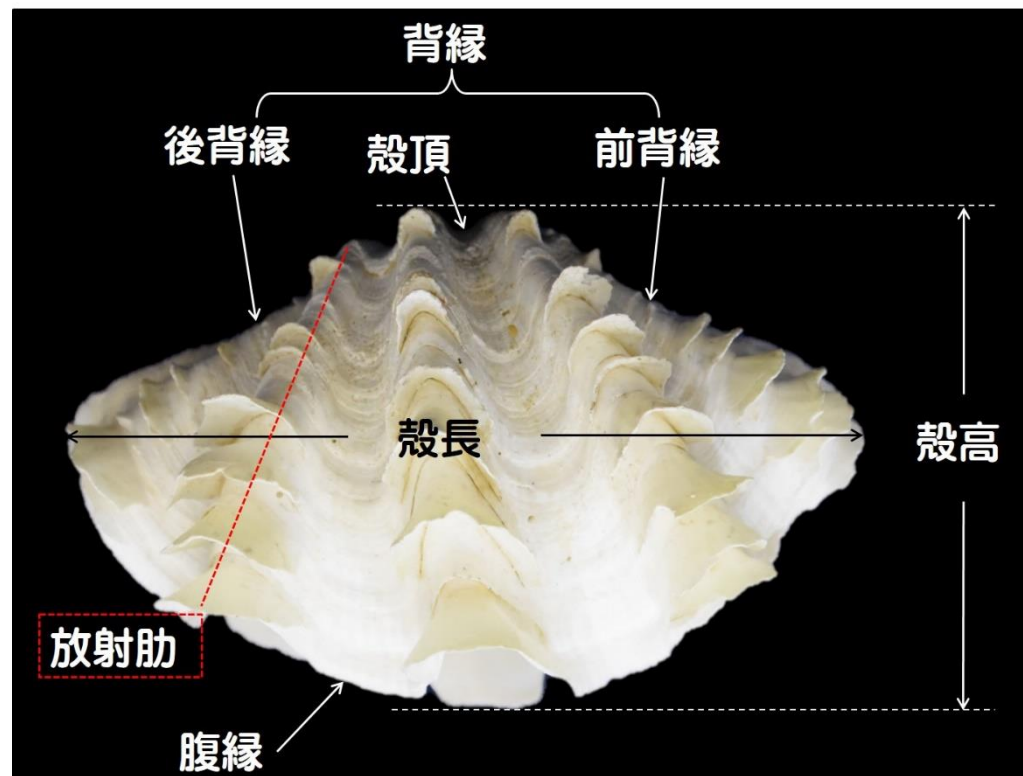


<二枚貝のからだの内部>



○貝がらの各部のなまえ

◆二枚貝（例：ヒレジャコガイ）◆



殻頂（かくちょう）：二枚貝の最も上の部分 殻が最初につくられた部分でもある

殻長（かくちょう）：貝がらの前端から後端までの長さ

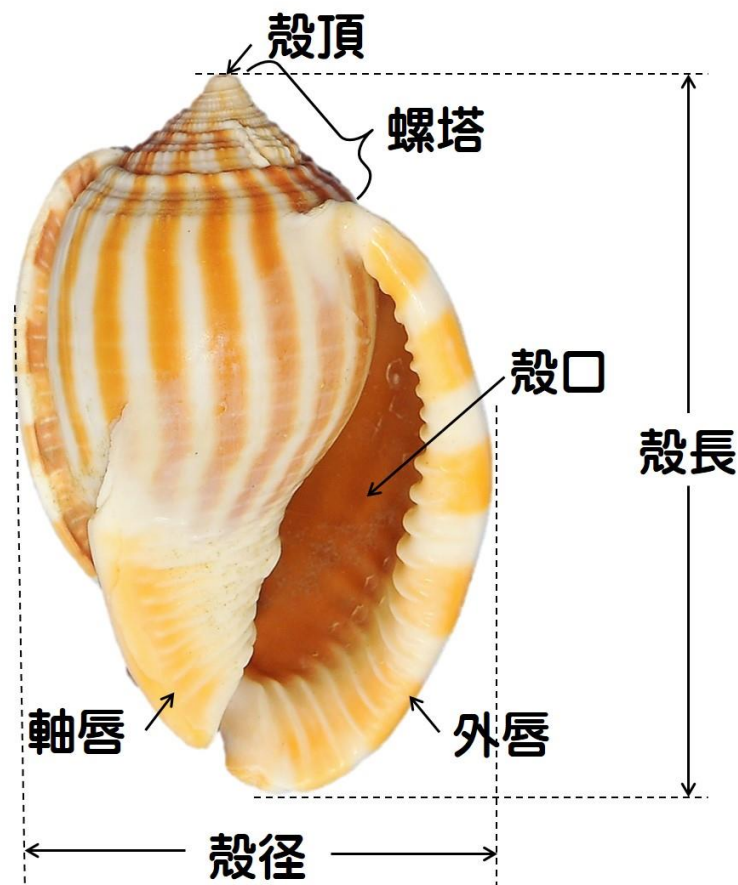
殻高（かくこう）：貝がらの上端から下端までの長さ

背縁（はいえん）：両殻をつなぎ合わせている部分側のふち

腹縁（ふくえん）：背縁の反対側（貝が開く側）のふち

放射肋（ほうしゃろく）：殻頂から周縁部に出る放射状の肋

◆巻貝（例：カズラガイ）◆



殻頂（かくちょう）：巻貝の最も上の部分にあたる貝がらの成長する出発点

殻長（かくちょう）：殻頂から貝がらの最も下にある部分（水管の先）までの長さ

殻径（かくけい）：貝がらの幅が最も大きい部分

螺塔（らとう）：殻頂から最下部の縫合までの部分

外唇（がいしん）：殻口の外側のふちにあたる部分

軸唇（じくしん）：殻口の内側のふちにあたる部分 内唇ともいう

貝がらが採取できる場所

◎砂浜

貝がら拾いができる最も手軽な場所は砂浜です。砂浜の波打ち際には貝の死殻がたくさん打ち上がっていることが多く、手軽に多くの種類を集めることができます。ただし、波にもまれて打ち上げられるため、こわれた貝がらが多いのが欠点です。二枚貝の貝がらが打ち上がっていることが多いです。



◎磯(貝殻砂)

磯の岩場と岩場をつなぐ砂地(貝殻砂)は貝がらが打ち上がることがあります。種類としては巻貝が多く打ち上がります。しかし、波で岩場に打ち付けられるため、こわれた貝がらが多いのが欠点です。



◎磯(潮だまり)

磯の潮だまりには、生きた貝が多く生息しています。岩の上面や下面、すき間など、少しずつ異なった環境が見られるので採集できる種類も多くなります。ただし、生きた貝を採集することになるので、標本にするのに手間がかかります。



◎その他

貝類は、海以外にも生息しており、川や池、田んぼなどの水があるところでも見られます。また、陸上生活をする貝類、「カタツムリ」もいるので、それらの貝がらを採集し標本にすることもできます。

貝がら標本をつくろう！

貝がらを拾うだけではなく、自分だけのオリジナル標本をつくってみましょう。そのためには、標本をつくることを考えながら、貝がらを採集すると効果的です。ここでは、標本の作り方について紹介します。

1. 標本にしやすい条件のよい貝がらを採集しよう

- 条件1 形がきちんとしていて(こわれていないこと)、色や模様があり、自然のつやがあること。
- 条件2 成貝であること。巻貝では、殻口が完全にできあがっていて、厚くなっていたら成貝。
- 条件3 二枚貝は、二枚の貝がら左右がそろっているとGOOD！

2. 採集した貝がらをピンセットや歯ブラシを使ってきれいに水洗いしよう

3. 標本箱をつくって整理しよう

手ごろな大きさの標本箱(お菓子が入っていた箱などでもよい)を準備し、似ている貝がらどうしが近くになるようにならべましょう。

4. ラベルを必ずつけよう

ラベルには、「貝の名前」「採集地」「採集年月日」「採集者」を必ず書きましょう。ラベルの無い貝がらは標本とはいえません。せっかく採集した貝がらなので、学術的に価値のある標本にしましょう。そのためには、必ずラベルをつけること！

<ラベルの例>

科 名	科
和 名	
採集地	
年月日	年 月 日
採集者	